

3月5日 No.2830

-----2018年(平成30年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

昭和41年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年 間 23,900円+税
(定価) 1部本体 509円+税

包装タイムズ

THE HOSO TIMES

工業技術見本市などでPR

アイーコンポロジー

射出成形可能なウッドブラ展開拡大

さまざまな複合材料の開発を行うアイーコンポロジー(東京都品川区、☎03・6410・7077)は、射出成形できるウッドプラスチック材料「i-WPC(アイーダブリュピーシー)」の展開を強めている。昨年、国際プラスチックフェア「IPF JAPAN 2017」に、今年、工業技術見本市「テク

ニカルショーコハマ2018」に出展し、これを素材に用いたトレーや玩具などを展示しPRを図った。

i-WPCは間伐材の木粉と汎用プラスチックを複合させた成形材料だ。特徴は、従来ウッドプラスチック材では難しかった、一般的な射出成形機と金型で焦がすことなく成形品の量産製造が可能なる点。さらにブロー成形、シート成形や真空成形もできる。また、基材樹脂よりも弾性率と耐熱性が大幅に向上する点もメリットだという。

展示会などに出品している同材料を用いたトレー



包材・容器で使用する利点には、廃棄後焼却される場合のCO₂排出量の削減

に加え、木粉が51%以上含まれる場合は燃焼処理可能などがある。2016年から展開を開始し、現在20社以上の企業で成形品の試作を検討中だという。代表取締役社長の三宅仁氏は「欧州のバイオエコノミー運動で、現在BMWやメルセデスなどのドイツ車には天然バイオ素材を活用する積極的な動きがみられることから、日本でもそれに似た動きをする企業は出てくると考えている」と述べている。